

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                                      |            |           |
|---------|--------------------------------------|------------|-----------|
| 事業所番号   | 2373200472                           |            |           |
| 法人名     | 社会福祉法人せんねん村                          |            |           |
| 事業所名    | せんねん村 グループホーム矢曾根 せんりょう・まんりょう (せんりょう) |            |           |
| 所在地     | 愛知県西尾市矢曾根町蓮雲寺74番地                    |            |           |
| 自己評価作成日 | 令和5年11月25日                           | 評価結果市町村受理日 | 令和6年2月20日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="https://www.kaiyokensaku.mhlw.go.jp/23/index.php?action_kouhyou_detail_2018_022_kani=true&amp;ijyosyoCd=2373200472-00&amp;PrefCd=23&amp;VersionCd=022">https://www.kaiyokensaku.mhlw.go.jp/23/index.php?action_kouhyou_detail_2018_022_kani=true&amp;ijyosyoCd=2373200472-00&amp;PrefCd=23&amp;VersionCd=022</a> |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|         |                            |
|---------|----------------------------|
| 評価機関名   | 特定非営利活動法人あいち福祉アセスメント       |
| 所在地     | 愛知県東海市東海町二丁目6番地の5 かえてビル 2階 |
| 聞き取り調査日 | 令和6年2月14日                  |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

木の香りが漂う木造の当施設は、昔ながらの長屋を感じさせるような雰囲気があります。周辺は住宅と田畑が広がりがどこか懐かしく、とても落ち着きを感じます。  
地域交流においては、ようやく地域行事等への参加も出来るようになり、久しぶりに合同の防災訓練を行うことができました。また、買い物等の外出もでき、自立支援に向けた本来のグループホームでの生活が戻ってきました。職員においては、「職員を大切にできる環境作り」「人材教育」「サービスの質の向上」を取組目標とし、職員全員で目標計画を作成し、理念である「こころのびのび からだいきいき いのちきらきら」のもと、「せんねん村で暮らした日々が一番良かった」と想っていただけるサービスが提供できるよう、ひとり一人に寄り添ったケアに取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

◎軽減要件適用事業所  
今年度は「軽減要件適用事業所」に該当しており、外部評価機関による訪問調査を受けておりません。したがって、今年度の公表は以下の3点です。  
①別紙4「自己評価結果」の【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点】と「自己評価・実践状況」 ②軽減要件確認票 ③目標達成計画

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印  | 項目  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印  |
|--|--|---|--|
| 56<br>職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)       | ○<br>1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいの<br>3. 利用者の1/3くらいの<br>4. ほとんど掴んでいない | 63<br>職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○<br>1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57<br>利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)             | ○<br>1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64<br>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○<br>1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58<br>利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                   | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65<br>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○<br>1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59<br>利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)     | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66<br>職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○<br>1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60<br>利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                  | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67<br>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61<br>利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)         | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68<br>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○<br>1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62<br>利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |   |  |

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|--------------------|-----|--|---|------|-------------------|
|                    |     |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |  |   |      |                   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                           | 「こころのびのび からだいきいき いのちきらきら」の理念のもと、毎日を大切に過ごしていただけるサービス、ケアの実践に心掛けている。                         |      |                   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                           | 買い物再開された中で、店の人とお話ししたり、散歩や回覧板を持って行った時に挨拶を交わしている。また、合同の防災訓練にも参加させていただいた。                    |      |                   |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                         | 地域行事にはまだ積極的に参加できていない為、運営推進会議を通して理解を促している。また、地域の中学生の職場体験を来春に実施することが決まっている。                 |      |                   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている      | 市役所長寿課、介護相談員、町内会、民生委員等の意見を頂き、サービス向上に活かしている。併設している特養と合同で開催しています。家族の参加はまだありません。             |      |                   |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる                 | 各申請時や相談等に連絡を取らせてもらっている。また、運営推進会議で事業所状況の報告をしている。   |      |                   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 年2回の法人学習会を実施。その他、事業所にて3か月に1度の身体拘束委員会を開いて身体拘束に対しての意識を確認する場とし、現在の状況を確認しながら、拘束のないケアに取り組んでいる。 |      |                   |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている       | 法人学習会を実施。また、事業所内にて研修を定期的に行い職員の虐待に対する知識と認識の向上に努めている。                                       |      |                   |

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|-----|--|---|------|-------------------|
|    |     |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 現在まで対象者はおらず学ぶ機会はないが、管理者は職員に対して、常に指導する準備はしている。そのような事例が出た際は、学ぶ機会を設ける。 |      |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 管理者にて十分な説明を行うと共に、不安等を聴きながら、理解と納得を得ている。                              |      |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | その都度、意見要望等は聞いており、職員共有している。事柄により運営に反映している。                           |      |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 必要時のヒアリング、また定期で行う人事考課面談にて意見交換をしている。法人としては年1回、ネット上での職員アンケートを実施している。  |      |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 職員の自己評価、個々の努力、実績、勤務状況等をもとに人事考課評価を行い、昇給賞与に反映している。                    |      |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 職員の力量や目標に添うよう法人内研修を実施している。またキャリアパス対応生涯研修やその他外部の研修会の参加も進めている。        |      |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 会議や研修会において外部の同業者との交流に繋げている。また、GH部会等で意見交換を行いサービスの質の向上に活かしている。        |      |                   |

| 自己                         | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----------------------------|-----|--|--|------|-------------------|
|                            |     |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |  |      |                   |
| 15                         |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 新規の入居者は当然不安な気持ちが大きい為、特に寄り添うケアを大事に心掛けている。これまでの本人の様子や生活歴、家族の要望をしっかりと聞き取り、ケアプランに反映し共有している |      |                   |
| 16                         |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 事前に家族が困っていること、不安や要望等を聞き入れ、職員共有のもと家族へも寄り添うことを心掛けている。来所時や電話等で話す機会がある際は現在の生活の様子を報告しています。  |      |                   |
| 17                         |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 入居前の状況をしっかりと確認した上で、今必要としている支援を見極め対応することに努めている。   |      |                   |
| 18                         |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 利用者から学ぶ場を通じて互いに支えあい、共同生活の中で共に尊重しあい学んでいる。   |      |                   |
| 19                         |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | まいつきのお便りを通して本人の様子をお伝えしている。また、コロナ制限が緩和され、現在は家族との面会や外出が多く、家族との直接会話も増えている。                |      |                   |
| 20                         | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | コロナ制限が緩和され、家族との外出が増え、馴染みの店や、理髪店に行っている。職員も会話の中で、馴染みの場所などの話を聞きながら支援に努めている。               |      |                   |
| 21                         |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 日々の生活の中から利用者同士の関係性を把握している。孤立しないよう職員は常に関わりを持ちながら支援に努めている。                               |      |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|------------------------------------|------|--|---|------|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 退居後の受け入れ先との情報共有している。法人内外のサービス事業所、または病院等に移った後も極力、家族、利用者との関係を継続し、必要に応じて相談、支援に努めている。                       |      |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |   |      |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 普段の会話等から希望や意欲を探り、それに沿ったケアを心掛けている。なるべくできる事は寄り添うように努めている。   |      |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | その方のこれまでの生活歴、生活環境、馴染んできた事を、入居前に家族に記入していただき共有している。また日々の会話から把握しケアに活かせるよう努めている。                            |      |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 日々の健康状態観察に合わせたケアを心掛けながら、その方の有する力を把握し支援している。   |      |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 月1回、また必要時のケアカンファレンスの中で、現状を踏まえながら意見やアイデアを出し合い反映している。また、サービス担当者会議において、本人、家族と今の課題とケアのあり方を話し合いケアプランを作成している。 |      |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 日々の様子、変化や気づき等を個別記録に入力し、必要に応じて職員間で情報を共有しケアプランに反映している。  |      |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる             | その時々々のニーズに合わせた柔軟な対応を心掛けている。また、法人内のあらゆる専門職に相談しサービスの多機能化への取組を継続している。                                      |      |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----|------|---|--|------|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 様々な地域資源を把握している。コロナ制限が緩和されたが、まだ思うように活用はされていない。  |      |                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | 意向を大切に希望機関の受診を行っている。事業所の主治医を希望の方は月2回の訪問診療があり情報提供をしている。その他の受診については伝達用紙を記入し情報を伝えている。                                   |      |                   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 日々の変化や気づき等の情報を都度、事業所看護師への申し送りを入力し、Ns出勤時に確認、指示をもらう。必要に応じて主治医へ報告。突発を要する時の為に法人内看護師とも連携している。                             |      |                   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院の際、早期退院に向けて病院相談員と定期的に情報交換や相談を行っている。家族へもその都度情報共有し安心できるよう連携をとっている。   |      |                   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 契約時に意向を確認しており、その後も必要に応じて意向を再確認している。また、医療行為等が常時必要となった際はGHでの生活が難しいことも説明しており、その際は法人内の特養等の他事業所と情報共有し、共に支援に取り組める体制をとっている。 |      |                   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 法人内で定期的に緊急時対応の研修を行っている。各マニュアルは事業所でまとめている。  |      |                   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 年2回の消防避難訓練と防火点検を行っている。地震、水害時避難訓練も実施しており避難場所も周知している。地域との合同訓練も実施しており、町内防災会長を通して協力体制を築いている。                             |      |                   |

| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----------------------------------|------|--|--|------|-------------------|
|                                  |      |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |  |      |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 一人ひとりの性格、生活歴を把握しており、その方の誇り、プライバシーに配慮しながら寄り添う言葉かけに努めている。  |      |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 日々の生活の中での会話から、本人の希望や思いを聞く、またはくみ取り、自己選択、自己決定ができるよう心がけている。   |      |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一人ひとりの生活リズムを崩さずに、会話の中でその日その時の希望を伺いながら、出来る限り沿った支援を心がけており、なるべく業務優先にならないよう努めている。                            |      |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 毎朝ご自分で服を選び整容も行っていただいている。ご自分で難しい方は職員が言葉がけしながら支援している。理美容は本人希望で法人訪問理美容または馴染みの理美容を利用していただいている。               |      |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 献立決めや食材準備など、出来る事を役割として本人の力を活かせるようにしている。また、職員と一緒にやることでコミュニケーションがとれ楽しく食事が出来る環境作り心がけている。                    |      |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 1日の水分、食事摂取量の把握をしている。一人ひとりに適した栄養、量、水分がバランスよく摂取できるよう毎食の献立作成をしている。また、定期的に法人内の管理栄養士に献立を見てもらい指導、助言を頂いて活かしている。 |      |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 毎食後、ご自分で口腔ケアをしていただいている。個々の状態によりお手伝いをさせていただいています。義歯は夜間、専用洗浄剤に浸けて保管し清潔を心がけています。                            |      |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----|------|---|--|------|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 一人ひとりの排泄習慣やリズムを把握しており、介助が必要な方にはプライバシーに配慮した声掛け等の支援をしている。また、その方の気持ちを優先した方法を検討し、共有しながら実践することに努めている。 |      |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる  | 一人ひとりの排便周期を把握している。便秘解消の為、発酵飲料や乳製品の提供と適度な運動を行えるよう取り組んでいる。   |      |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている                        | 一人ひとりの希望や要望に沿った入浴を行っている。また、羞恥心に配慮しリラックスして入浴を楽しんでいただけるように心がけています。                                 |      |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | 一人ひとりの生活習慣を尊重し、その時々状況に応じて自由に休息していただいている。夜間は安眠を優先できるよう心がけています。                                    |      |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | 一人ひとりの現病、既往歴を把握し、服用している薬の内容の理解に努めている。また、症状の変化等にいち早く気づき対応できるように努めています。                            |      |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 一人ひとりの趣味や特技を生かした余暇やイベントに取り組んでいる。また、喜びや楽しみがある日常になるよう心がけています。                                      |      |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | コロナ禍に於いて外出支援ができなかったが、ようやく緩和され、現在は買い物支援、イベント、家族との外出等、なるべく外出できるように支援している。                          |      |                   |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|------|--|---|------|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 現在所持している方はおらず、お小遣いとして施設で預かり、使用状況は毎月、台帳と領収書を家族に郵送し報告としている。                                   |      |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 電話をかけたいと要望があった際は、出来る限りの支援はしているが、家族の意向もあるため、配慮しながらの支援としている。                                  |      |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用空間は木のぬくもりを感じる事ができ、天窓から光が入り落ち着ける空間となっている。また、ウッドデッキで家庭菜園をしたり、洗濯物を干したりと、季節感、生活感を肌で感じることができる。 |      |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | リビングや食堂、または気候が良いときはウッドデッキなどで日向ぼっこをしながら、思い思いに過ごしていただけるよう日々工夫をしています                           |      |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 家族の協力のもと、ご本人と一緒に使い慣れたものや馴染みのものを置き、ご本人が居心地の良い居室になるよう工夫をしています。                                |      |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 施設内部は段差はなく、すべてフラットになっている。トイレや浴室等は看板を掛け、居室はわかりやすく名前を貼っており、安心に生活が送れるように心掛けています。               |      |                   |

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

|         |                                      |            |           |
|---------|--------------------------------------|------------|-----------|
| 事業所番号   | 2373200472                           |            |           |
| 法人名     | 社会福祉法人せんねん村                          |            |           |
| 事業所名    | せんねん村 グループホーム矢曾根 せんりょう・まんりょう (まんりょう) |            |           |
| 所在地     | 愛知県西尾市矢曾根町蓮雲寺74番地                    |            |           |
| 自己評価作成日 | 令和5年11月25日                           | 評価結果市町村受理日 | 令和6年2月20日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="https://www.kaiyokensaku.mhlw.go.jp/23/index.php?action_kouhyou_detail_2018_022_kani=true&amp;ijyosyoCd=2373200472-00&amp;PrefCd=23&amp;VersionCd=022">https://www.kaiyokensaku.mhlw.go.jp/23/index.php?action_kouhyou_detail_2018_022_kani=true&amp;ijyosyoCd=2373200472-00&amp;PrefCd=23&amp;VersionCd=022</a> |
|----------|---|

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

|         |                            |
|---------|----------------------------|
| 評価機関名   | 特定非営利活動法人あいち福祉アセスメント       |
| 所在地     | 愛知県東海市東海町二丁目6番地の5 かえてビル 2階 |
| 聞き取り調査日 | 令和6年2月14日                  |

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

木の香りが漂う木造の当施設は、昔ながらの長屋を感じさせるような雰囲気があります。周辺は住宅と田畑が広がりがどこか懐かしく、とても落ち着きを感じます。  
地域交流においては、ようやく地域行事等への参加も出来るようになり、久しぶりに合同の防災訓練を行うことができました。また、買い物等の外出もでき、自立支援に向けた本来のグループホームでの生活が戻ってきました。職員においては、「職員を大切に作る環境作り」「人材教育」「サービスの質の向上」を取組目標とし、職員全員で目標計画を作成し、理念である「こころのびのび からだいきいき いのちきらきら」のもと、「せんねん村で暮らした日々が一番良かった」と想っていただけるサービスが提供できるよう、ひとり一人に寄り添ったケアに取り組んでいます。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

◎軽減要件適用事業所

今年度は「軽減要件適用事業所」に該当しており、外部評価機関による訪問調査を受けておりません。したがって、今年度の公表は以下の3点です。

- ①別紙4「自己評価結果」の【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点】と「自己評価・実践状況」
- ②軽減要件確認票
- ③目標達成計画

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

| 項目 |  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   | 項目 |   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)             | ○                     | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○                     | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                   | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                     | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)     | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 66 | 職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○                     | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                  | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)         | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  |    |   |                       |   |

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|--------------------|-----|---|---|------|-------------------|
|                    |     |   | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |   |   |      |                   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                            | 「こころのびのび からだいきいき いのちきらきら」の理念のもと、毎日を大切に過ごしていただけるサービス、ケアの実践に心掛けている。                         |      |                   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                            | 買い物が再開された中で、店の人とお話ししたり、散歩や回覧板を持って行った時に挨拶を交わしている。また、合同の防災訓練にも参加させていただいた。                   |      |                   |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                          | 地域行事にはまだ積極的に参加できていない為、運営推進会議を通して理解を促している。また、地域の中学生の職場体験を来春に実施することが決まっている。                 |      |                   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている       | 市役所長寿課、介護相談員、町内会、民生委員等の意見を頂き、サービス向上に活かしている。併設している特養と合同で開催しています。家族の参加はまだありません。             |      |                   |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる                  | 各申請時や相談等に連絡を取らせてもらっている。また、運営推進会議で事業所状況の報告をしている。   |      |                   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 年2回の法人学習会を実施。その他、事業所にて3か月に1度の身体拘束委員会を開いて身体拘束に対しての意識を確認する場とし、現在の状況を確認しながら、拘束のないケアに取り組んでいる。 |      |                   |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている       | 法人学習会を実施。また、事業所内にて研修を定期的に行い職員の虐待に対する知識と認識の向上に努めている。                                       |      |                   |

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|-----|--|---|------|-------------------|
|    |     |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 現在まで対象者はおらず学ぶ機会はないが、管理者は職員に対して、常に指導する準備はしている。そのような事例が出た際は、学ぶ機会を設ける。 |      |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 管理者にて十分な説明を行うと共に、不安等を聴きながら、理解と納得を得ている。                              |      |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | その都度、意見要望等は聞いており、職員共有している。事柄により運営に反映している。                           |      |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 必要時のヒアリング、また定期で行う人事考課面談にて意見交換をしている。法人としては年1回、ネット上での職員アンケートを実施している。  |      |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 職員の自己評価、個々の努力、実績、勤務状況等をもとに人事考課評価を行い、昇給賞与に反映している。                    |      |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 職員の力量や目標に添うよう法人内研修を実施している。またキャリアパス対応生涯研修やその他外部の研修会の参加も進めている。        |      |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 会議や研修会において外部の同業者との交流に繋げている。また、GH部会等で意見交換を行いサービスの質の向上に活かしている。        |      |                   |

| 自己                         | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----------------------------|-----|--|--|------|-------------------|
|                            |     |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |  |      |                   |
| 15                         |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 新規の入居者は当然不安な気持ちが大きい為、特に寄り添うケアを大事に心掛けている。これまでの本人の様子や生活歴、家族の要望をしっかりと聞き取り、ケアプランに反映し共有している |      |                   |
| 16                         |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 事前に家族が困っていること、不安や要望等を聞き入れ、職員共有のもと家族へも寄り添うことを心掛けている。来所時や電話等で話す機会がある際は現在の生活の様子を報告しています。  |      |                   |
| 17                         |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 入居前の状況をしっかりと確認した上で、今必要としている支援を見極め対応することに努めている。   |      |                   |
| 18                         |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 利用者から学ぶ場を通じて互いに支えあい、共同生活の中で共に尊重しあい学んでいる。   |      |                   |
| 19                         |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | まいつきのお便りを通して本人の様子をお伝えしている。また、コロナ制限が緩和され、現在は家族との面会や外出が多く、家族との直接会話も増えている。                |      |                   |
| 20                         | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | コロナ制限が緩和され、家族との外出が増え、馴染みの店や、理髪店に行っている。職員も会話の中で、馴染みの場所などの話を聞きながら支援に努めている。               |      |                   |
| 21                         |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 日々の生活の中から利用者同士の関係性を把握している。孤立しないよう職員は常に関わりを持ちながら支援に努めている。                               |      |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|------------------------------------|------|--|---|------|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 退居後の受け入れ先との情報共有している。法人内外のサービス事業所、または病院等に移った後も極力、家族、利用者との関係を継続し、必要に応じて相談、支援に努めている。                       |      |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |   |      |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 普段の会話等から希望や意欲を探り、それに沿ったケアを心掛けている。なるべくできる事は寄り添うように努めている。   |      |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | その方のこれまでの生活歴、生活環境、馴染んできた事を、入居前に家族に記入していただき共有している。また日々の会話から把握しケアに活かせるよう努めている。                            |      |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 日々の健康状態観察に合わせたケアを心掛けながら、その方の有する力を把握し支援している。   |      |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 月1回、また必要時のケアカンファレンスの中で、現状を踏まえながら意見やアイデアを出し合い反映している。また、サービス担当者会議において、本人、家族と今の課題とケアのあり方を話し合いケアプランを作成している。 |      |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 日々の様子、変化や気づき等を個別記録に入力し、必要に応じて職員間で情報を共有しケアプランに反映している。  |      |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | その時々ニーズに合わせた柔軟な対応を心掛けている。また、法人内のあらゆる専門職に相談しサービスの多機能化への取組を継続している。  |      |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----|------|---|--|------|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 様々な地域資源を把握している。コロナ制限が緩和されたが、まだ思うように活用はされていない。  |      |                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | 意向を大切に希望機関の受診を行っている。事業所の主治医を希望の方は月2回の訪問診療があり情報提供をしている。その他の受診については伝達用紙を記入し情報を伝えている。                                   |      |                   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 日々の変化や気づき等の情報を都度、事業所看護師への申し送りを入力し、Ns出勤時に確認、指示をもらう。必要に応じて主治医へ報告。突発を要する時の為に法人内看護師とも連携している。                             |      |                   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院の際、早期退院に向けて病院相談員と定期的に情報交換や相談を行っている。家族へもその都度情報共有し安心できるよう連携をとっている。   |      |                   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 契約時に意向を確認しており、その後も必要に応じて意向を再確認している。また、医療行為等が常時必要となった際はGHでの生活が難しいことも説明しており、その際は法人内の特養等の他事業所と情報共有し、共に支援に取り組める体制をとっている。 |      |                   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 法人内で定期的に緊急時対応の研修を行っている。各マニュアルは事業所でまとめている。  |      |                   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 年2回の消防避難訓練と防火点検を行っている。地震、水害時避難訓練も実施しており避難場所も周知している。地域との合同訓練も実施しており、町内防災会長を通して協力体制を築いている。                             |      |                   |

| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----------------------------------|------|--|--|------|-------------------|
|                                  |      |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |  |      |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 一人ひとりの性格、生活歴を把握しており、その方の誇り、プライバシーに配慮しながら寄り添う言葉かけに努めている。  |      |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 日々の生活の中での会話から、本人の希望や思いを聞く、またはくみ取り、自己選択、自己決定ができるよう心がけている。   |      |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一人ひとりの生活リズムを崩さずに、会話の中でその日その時の希望を伺いながら、出来る限り沿った支援を心がけており、なるべく業務優先にならないよう努めている。                            |      |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 毎朝ご自分で服を選び整容も行っていただいている。ご自分で難しい方は職員が言葉がけしながら支援している。理美容は本人希望で法人訪問理美容または馴染みの理美容を利用していただいている。               |      |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 献立決めや食材準備など、出来る事を役割として本人の力を活かせるようにしている。また、職員と一緒にやることでコミュニケーションがとれ楽しく食事が出来る環境作り心がけている。                    |      |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 1日の水分、食事摂取量の把握をしている。一人ひとりに適した栄養、量、水分がバランスよく摂取できるよう毎食の献立作成をしている。また、定期的に法人内の管理栄養士に献立を見てもらい指導、助言を頂いて活かしている。 |      |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 毎食後、ご自分で口腔ケアをしていただいている。個々の状態によりお手伝いをさせていただいています。義歯は夜間、専用洗浄剤に浸けて保管し清潔を心がけています。                            |      |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----|------|---|--|------|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 一人ひとりの排泄習慣やリズムを把握しており、介助が必要な方にはプライバシーに配慮した声掛け等の支援をしている。また、その方の気持ちを優先した方法を検討し、共有しながら実践することに努めている。 |      |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる  | 一人ひとりの排便周期を把握している。便秘解消の為、発酵飲料や乳製品の提供と適度な運動を行えるよう取り組んでいる。   |      |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている                        | 一人ひとりの希望や要望に沿った入浴を行っている。また、羞恥心に配慮しリラックスして入浴を楽しんでいただけるように心がけています。                                 |      |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | 一人ひとりの生活習慣を尊重し、その時々状況に応じて自由に休息していただいている。夜間は安眠を優先できるよう心がけています。                                    |      |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | 一人ひとりの現病、既往歴を把握し、服用している薬の内容の理解に努めている。また、症状の変化等にいち早く気づき対応できるように努めています。                            |      |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 一人ひとりの趣味や特技を生かした余暇やイベントに取り組んでいる。また、喜びや楽しみがある日常になるよう心がけています。                                      |      |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | コロナ禍に於いて外出支援ができなかったが、ようやく緩和され、現在は買い物支援、イベント、家族との外出等、なるべく外出できるように支援している。                          |      |                   |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|------|--|---|------|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 現在所持している方はおらず、お小遣いとして施設で預かり、使用状況は毎月、台帳と領収書を家族に郵送し報告としている。                                   |      |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 電話をかけたいと要望があった際は、出来る限りの支援はしているが、家族の意向もあるため、配慮しながらの支援としている。                                  |      |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用空間は木のぬくもりを感じる事ができ、天窓から光が入り落ち着ける空間となっている。また、ウッドデッキで家庭菜園をしたり、洗濯物を干したりと、季節感、生活感を肌で感じることができる。 |      |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | リビングや食堂、または気候が良いときはウッドデッキなどで日向ぼっこをしながら、思い思いに過ごしていただけるよう日々工夫をしています                           |      |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 家族の協力のもと、ご本人と一緒に使い慣れたものや馴染みのものを置き、ご本人が居心地の良い居室になるよう工夫をしています。                                |      |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 施設内部は段差はなく、すべてフラットになっている。トイレや浴室等は看板を掛け、居室はわかりやすく名前を貼っており、安心して生活が送れるように心掛けています。              |      |                   |